

 評価のポイント

CL-Ⅱ. 看護実践能力：ニーズをとらえる力

[11-2] さまざまな症状を呈する小児への看護 消化器症状（複雑事例編）

1. 講義の中に登場した、＜A ちゃん 10 歳女児の事例＞をもとに「腹部症状を呈する小児の急性期看護のポイント」を整理してみましょう。

下記のポイントが理解できている。

- 1) 生体機能の安定、生命の維持⇒重症化しやすい、重症化を見逃しやすい
- 2) 事故予防、安全の確保⇒成人とは異なる医学的管理の知識と技術が必要
- 3) 倫理的配慮⇒小児をどう理解し、どう向き合うか？
- 4) 家族へのケア⇒家族との協働（家族参加）＋ 家族へのケア